

消防指令長が防火・防災テーマに講演

京都代協 新春セミナーと懇親会を開催

京都代協(小橋信彦会長)は1月23日午後4時半から、京都市下京区のリーガロイヤルホテル京都で、会員ら85名参加のもと新春セミナーを開催した。午後6時からには新春懇親会を開催、来賓の



小橋会長



懇親会のもよう

北村隆嗣損害協会近畿支部京都損保会会長、各損保会社京都支店長ら、および前原誠司衆議院議員、泉ケンタ衆議院議員

ならびに、北神圭朗京都先端科学大学特別招聘客員教授、福山哲郎、安藤裕各事務所秘書、田中健志、磯野勝京都府会議員を含め総勢125名が出席し、本年も盛大な催しとなった。

セミナーでは、門川大作京都市長および小橋会長が挨拶を行い、京都市消防局予防部市民安全課の山田正人担当課長・消防指令長ら3名が「近年の防火・防災・減災」と

題して講演を行った。令和元年の京都市における住宅火災の原因は発生件数上位からたばこ、こんろ、放火、暖房器具となっており、たばこでは喫煙者が減少していることから家庭内に灰皿が

う強く呼びかけた。とくにその地域が比較的安全であっても周囲の状況でライフラインが止まる可能性があるため備えは必須であると訴えた。加えて、阪神・淡路大震災の教訓から生まれた防災教材クロスロードゲームを

品が手渡された。小橋会長が冒頭挨拶に立ち、京都アニメーションの惨事に触れ、「伝え聞かれるところによると被害者への労災認定がされたが残念ながら上乗せ

NSグループが仲介業者として入ってくる金融ワンストップサービスについて、「過去、通販型自動車保険が出てきたときに影響はないだろうと高をくくっていたいなかった

般個人だけでなく経営者にも行われるだろう」と危機感を示した。そのうえでこれらの勢力に対抗するには独自の横のネットワークを持ち、業界動向や提案手法などの情報を入手することが大切と強調し、「その情報を得てもらうのはまさにこの

を灰皿代わりにしている缶を灰皿代わりにしているケースや、高齢者では寝具とストーブの距離が近すぎ寝返り時に発火するケースなど、最近の傾向を含め、それぞれの注

を自分の身に置き換えて考えると同時に他者のさまざまな考えを知ることの大切さを伝えた。

参加者一同で行い、災害を自分自身に置き換えて考えると同時に他者のさまざまな考えを知ることの大切さを伝えた。

提供している保険もそれほど普及しないだろうと考えているかもしれないが、例えばLINEを使ってクレジット決済をすることでその会社にすべ

京都市長および小橋会長が挨拶を行い、京都市消防局予防部市民安全課の山田正人担当課長・消防指令長ら3名が「近年の防火・防災・減災」と

セミナーでは、門川大作京都市長および小橋会長が挨拶を行い、京都市消防局予防部市民安全課の山田正人担当課長・消防指令長ら3名が「近年の防火・防災・減災」と

品が手渡された。小橋会長が冒頭挨拶に立ち、京都アニメーションの惨事に触れ、「伝え聞かれるところによると被害者への労災認定がされたが残念ながら上乗せ

NSグループが仲介業者として入ってくる金融ワンストップサービスについて、「過去、通販型自動車保険が出てきたときに影響はないだろうと高をくくっていたいなかった

般個人だけでなく経営者にも行われるだろう」と危機感を示した。そのうえでこれらの勢力に対抗するには独自の横のネットワークを持ち、業界動向や提案手法などの情報を入手することが大切と強調し、「その情報を得てもらうのはまさにこの

京都市長および小橋会長が挨拶を行い、京都市消防局予防部市民安全課の山田正人担当課長・消防指令長ら3名が「近年の防火・防災・減災」と